

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ハッピー藤沢教室		2025 年 10 月 1 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・清掃を行いいつも衛生的にしている。 ・職員室がオープンスペースの為、個支検討会等行う際の個人情報保護が気になります。 面談室が無い為、モニタールームでアセスメントなどを行う事があり、上記同様に気になります。 ・支援室の数、広さに応じて支援予約数の調整をしている。全員で支援スケジュールを確認している。	面談日などの設定を行なうようにし、個室で面談ができる環境を整える。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	・職員の数は適切だとおもう。 ・指導員と予約状況を照らし合わせ尚且つお子様の状況、発達段階に応じて適切な支援が行えるよう柔軟に職員の配置を変更していること。	今後も人員配置において職員間での調整を行い適切な配置に努める。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・ロールカーテンは子どもが遊びたくなり危険を感じる事や、窓が開かない部屋があり、換気などの気になる事があります。 ・滑ってけがをしないように工夫している	環境の整備に努める。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	・窓が多いところがあるので外が気になってしまう子が多い。 ・窓の開かない部屋は衛生面などでも気になります。 ・消毒は欠かさない	換気ができない環境において、空気清浄機の配置をお子さまの状態を踏まえながら検討する。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・集団支援で参加が難しい利用者様には個別対応できるように部屋を開けて置くなど、可能な限りは対応している。 ・個別の部屋を使えるようになっている	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	シフト制の為職員が全員揃う事が少なく、共有が難しい事がある。	引き続き、朝礼・終礼での情報共有に努めるとともに、ツールを活用した情報交換を徹底する。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・保護者の方からのご意見は真摯に受け止め、話し合う事を心掛けている。 ・業務改善している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・意見を出し合う等の話し合いの場が持たれていないと感じる。伝達はあるが互いの意見を聞く事とは違うと感じる。 ・職員会議を行っている	毎月開催している教室会議での意見交換を密に行なう。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	・社内ではあるが、教室外の方による評価がある。 ・内部監査は受けているが外部の第三者評価は受けていない。	評価内容をもとに業務改善に努める。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・機会は設けられているが、オンラインでの参加が中心であり、実際に現場を見て学ぶ機会が欲しい ・研修会を開いている	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1		現在もホームページにて支援プログラムを公開している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		検討会は必ず行い、皆の意見を聞く事は出来ている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・毎回必ず個別支援計画検討会議を実施している。 ・検討会で話し合う事は出来ている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		自分の支援には自信がないが計画に書かれていることは忠実に行うように心がけている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		今後も標準化されているアセスメントシートを使用して適切にアセスメントをとるよう徹底する。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		検討会で話し合っている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・中心で立案をする職員はいるが、意見を求めながら立てている。 ・集団支援は担当になった職員で話し合っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		自分の支援に自身がないが固定化しないようには工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		保護者のニーズも伺いながら行えている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝礼、終礼は必ず行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		確認している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	記録の取り方は個人差があり、何を行ったか分かりにくい物もある	支援の共有、確認をそれぞれ職員間で行っていくよう努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		保護者とのFBなど日頃から話を聞くようにしている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		参加前には子供の記録を見返す等し、把握にも努めている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		状況やニーズに応じて行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・併行利用や移行について、積極的に情報提供を行っているが、インクルージョン推進には至っていない。また、双方向的な情報共有が難しい。 ・利用者の状況や保護者のニーズに応じて行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・就学先からの情報提供が少なく、連携について消極的だと感じる事がある。 ・毎年、希望に合わせて実施している ・引き継ぎシートを送り、その後に電話連絡を入れる等し利用者の理解に努めている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	3	・今後積極的に働きかけていきたい。 ・今後必要である。 ・まだそのような機会はないが、受けられるのであれば受けたい	今後地域の療育センターとの関係構築を図る。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	・地域連携について積極的に働きかけを行っている。 ・地域の中で実施するのは10月を予定しており、現在は実施していない。 ・直接は無いが、地域の子育てイベントには参加予定	地域のイベント等への参加を積極的に行っていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		FBの時間は保護者の話も聞くように心がけている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・今後ペアレントトレーニングを実施したいと思っている。 ・オンライン研修や教室で保護者会などの機会を設けている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		自分の説明には自信はないが、伝える事は心かけている	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		子供の成長を第一に考えている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		同意して頂いている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		面談の声掛けなども行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		兄弟の交流は無いが保護者会は設けている	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		希望があった際にはすぐに対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1	発信している	ブログ等の掲載を増やし、積極的な情報配信を行っていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		配慮しているが職員室の構造に問題あり	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		具体的な関わり方などをお伝えするように心がけている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	・園や子どもに関わる機関に対して、出前講座や事業所見学を案内しているが、参加はない。 ・行事への参加は呼び掛けていないが、地域の子育て祭りに参加予定	事業所の開放など、祝日や夏休みなどの長期休暇時に設定できるよう工夫する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	訓練の実施が全員職員の揃っては難しい	研修と共に実施している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	職員が全員揃わない為全員周知が難しい	研修と共に年2回実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		保護者から伺った際には共有し把握に努めている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	医師からの指示は無いが保護者の申告で承知している	現在該当者はいないが、必要に合わせて実施していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		研修は定期的に受けている	研修とともに訓練も実施している。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	保護者への周知は掲示のみで口頭では行えていないが、防災訓練は実施予定	利用者閲覧ファイルにて公開している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		月に2件は上げるように、共有している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的に研修を受けている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		・該当ケースなし。 ・おこなったことは無いが、内容については研修で理解している	